



口加だより

平成30年度キャッチフレーズ：行こうか！口加！～口加リニュー宣言！

第6号

平成31年2月27日

発行 長崎県立口加高等学校
編集 広報研修部
総生徒数 238名

万感胸に迫る季節



校長 狩野博臣

1月19日、大学入試センター試験初日の午前8時過ぎ。聞こえてくるノートや参考書をめくる音。長崎県立大学の受験生控室にみなぎる緊張感。この日を迎えるまで、生徒自身にもご家族の皆様にも幾多の苦悩があったことでしょう。

「同志の友よ 君の姿に励まされ 私もがんばる 君もがんばれ」

早朝・放課後補習、土日の学校開放自学、学習合宿……。模擬試験の結果に一喜一憂し、焦り、悩み、様々なことを乗り越えて、生徒たちは入試までたどり着きました。大学のトイレでばったり会ったM君は「やっと（入試当日が）来ました」と言いました。やっと一つ山が越せるという気持ちだったのでしょ。試験前日、あるお母様が「胃が痛い」とおっしゃいました。戦っているのは子どもだけではありません。親もまた手に汗握り、わが子の健闘を祈っていらっしやったことでしょう。

「ありがとう 感謝の気持ち 胸に秘む 合格通知をお返しに」

昨年10月から大学や専門学校のAO・推薦入試、また就職試験を受験し、一足早く春が来た生徒がいる一方で、厳しい現実には涙した生徒もいます。挫折しては立ち上がり、また挫折……。その先にやっと訪れた春もありました。また、大学入試センター試験を皮切りに3月12日の国公立大学後期試験まで挑み続ける生徒もいます。努力は報われるのかと不安で一杯だと思います。しかし、不安を払拭するには努力するしかありません。その努力の先にこそ自信は芽生えるのです。受験に完璧はありません。あるのは「やり切った」という、ある意味の自己満足です。この自己満足が「自分を信じる」ことにつながるのだと思います。受験は孤独な戦いですが、同時に孤独ではないことを教えてくれるのも受験です。苦しい時には家族やクラスの仲間、そして教員が背中を押してくれます。

「受験期を越えて手にする財産は 偏差値でなく 順位でもなし」

受験は合否を越えた大切なことを教えてくれます。例えば、努力の尊さ、その先にある喜びや自信、壁を乗り越えた達成感と充実感、周囲の方々への感謝。不合格という厳しい現実を受け止めた経験も必ず生きる時がきます。人生路は決して平らではありません。山もあれば谷もあります。そういう時こそ、この受験期で得た財産を支えとして、自分の人生を切り開き、荒波にも耐え、乗り越え、たくましく生きていくものと確信しています。

最後に、受験生を持った保護者が書かれた体験記をご紹介します。「親の役割は、子どもががんばるのを後ろから背中を押してあげることです。しかし、成功に近づけば近づくほど、反対に遠くに手放さなければならないという寂しさもあります。受験というのは、親も子も成長する人生のステップのような気がします。」

受験、卒業、そして旅立ち……。それぞれの立場で万感胸に迫る季節です。

大学入試センター試験に挑む



1月19日（土）、20日（日）の2日間にわたり大学入試センター試験が行われました。この日のために、生徒たちは朝早くから夜遅くまで、そして土日も登校して学習に励んできました。思い通りの結果が出なかった生徒もいたとは思いますが、この先もっと大きな勝負をしないといけない時がきます。この経験は必ずその時の支えとなるでしょう。気持ちを切り替えて、2次試験や私大の受験に向けてがんばって欲しいです。最後に、前日のお見送りや激励文、当日の応援や差し入れをしてくださった方々に感謝をし、誰からも応援される生徒とここまでこられたことを何より誇りに思います。

進路指導部主任 松本辰哉

『焦るな。慌てるな。諦めるな。顔晴れ、71回生！！』

第71回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。まずは君たちと出逢えたことに感謝します。3年間の高校生活は決して平坦な道ではなく、苦しくて辛くて、時には涙した日もあったことでしょう。しかし、その壁こそが今の君たちを守る盾となって、優しさと強さを生み出しているのだと思います。さて、4月からそれぞれの新天地に羽ばたく71回生へ。現代社会は、日々技術革新が進み、「先行き不透明な時代」と言われています。そのような世の中で大切になるのは君たちが今抱えている「志」です。前を向く「志」さえあれば、周りに人が集まり、応援され、決して一人では叶えることができない夢も実現することができるのだと思います。人生の壁に当たったときには、後ろを振り返ってみてください。これまで君たち自身が歩んできた路で、私達が手を振って応援しています。『焦るな。慌てるな。諦めるな。顔晴れ、71回生！！』と。

Dream can do , Reality can do . 卒業おめでとう、そして、行ってらっしゃい。

保護者の皆様方、お子様のご卒業おめでとうございます。また、これまで物心両面にわたりご支援いただきありがとうございました。卒業生の今後益々のご活躍を学年団一同祈念しております。

学年主任 山内 徹



校内マラソン大会



2月1日(金)に、平成最後となる、校内マラソン大会が開催されました。男子は8.0km、女子は4.8kmの早崎折返しコースを走りました。前日の大雨で、開催が心配されましたが、当日は絶好の(肌寒い)マラソン日和となりました。1月から練習を始め、各個人それぞれ持てる力を出しながら頑張りました。沿道からたくさんのご声援をいただき、全員無事に完走することができました。

また、走り終わった後は、母親委員会のお母さま方が前日より準備してくださった豚汁で疲れた体を癒やしました。お母さん方、そして地域の皆様、ありがとうございました。



探究学習発表会

グローバルコース



グローバルコースは、1期生が今まで研究してきた内容をまとめ、発表を行いました。この2年間で、人前での発表がずいぶん成長したなと頼もしく感じました。立ち振る舞いやデータの見せ方、話し方など、プレゼンテーションのレベルは確実に上がりました。また、1年生も2年生の補助だけでなく、戦力として新しい風をコースに吹き込んでくれ、今後の活躍が楽しみです。

生活創造コース

3年生活創造コースは、2年間の実践活動の成果を発表しました。これからの生活を豊かに創造しようとする強い思いが感じられる発表でした。

福祉分野



福祉部門の発表では、長崎国際大学「第5回福祉作文コンクール」で最高賞となる「学長賞」を受賞した1年1組 柴内敬都君に作文を朗読していただきました。『みんなが「幸せ」に』というタイトルで2016年から施行された「障害者差別解消法」の内容もふまえながら、障がいを持っている人もそうでない人も、みんなで手を取り合って差別のない幸せな世の中になってほしいと述べました。

ポスターセッション



ポスターセッションでは、2年1組・2組・3組の生徒たちが、17のグループに分かれてそれぞれに興味のあるテーマを自由に設定し、調べたことを模造紙にまとめ、発表しました。調査の時間が少なく、観客のみなさんからの質問への返答には、ちょっと戸惑っていた様子でした。しかし、どの発表もユニークで、普段の学校の授業だけでは学ぶことができない貴重な学習経験となりました。

生活創造コース 三冠王取得 おめでとう！！

「三冠王」は食物調理1級・和服製作1級・洋服製作1級の3種目全てに合格した者に授与されます。正確さ、素速さ、丁寧さ、粘り強さの賜物です。



島原特別支援学校南串山分教室訪問

2月21日(木) 考査最終日に島原特別支援学校南串山分教室を訪問しました。

まずは吹奏楽部による音楽の交流です。吹奏楽部が奏でる音色に合わせて、分教室の児童・生徒のみなさんは一緒に歌ったり演奏したりして、後ろにいた生徒たちも手拍子で盛り上げていました。次に、交流班・作業班に別れて交流しました。交流班は小学部の児童のみなさんとゲームを行い、楽しい時間を過ごしていました。作業班は中学部のみなさんと協力して花の植え替えを行い、和気藹々とした雰囲気の中で一緒に作業を行いました。

長年の伝統となっているこの行事を通して、生徒は互いに支え合うことの大切さを改めて実感することができました。



平成30年度長崎県高等学校新人体育大会結果報告

- ・バスケットボール競技(vs 五島) 1回戦敗退
- ・卓球競技(vs 壱岐) 1回戦敗退
- ・駅伝競技 男子18位 女子11位
- ・サッカー競技(vs島原工業 vs大村) 予選リーグ敗退
- ・バレー競技女子(vs活水) 2回戦敗退



母親委員によるコサージュ作り

2月15日(金)、青雲寮において母親委員による卒業式の教員用コサージュ作りが行われました。楽しい雰囲気の中、華やかで立派なコサージュが完成しました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

3月の行事予定

- ・ 3月 1日(金) 卒業式 
- ・ 3月19日(火) 校内スポーツ大会
- ・ 3月24日(日) 吹奏楽部定期演奏会
(西有家総合学習センター2F) 